

報道機関配布資料

平成18年7月18日
日本環境安全事業株式会社豊田事業所
所 長 吉本 範 男 (0565-25-3110)
副 所 長 牧 田 泉 (同 上)
日本環境安全事業株式会社(本社)
事 業 部 長 木 村 祐 二 (03-5765-1907)
安全・技術 田 中 紀 彦 (03-5765-0543)
開発課長

豊田PCB廃棄物処理施設の運転再開について

豊田PCB廃棄物処理施設のPCB漏洩事故に関して多大なるご心配、ご迷惑をおかけし心からお詫び申し上げます。

事故発生後、施設の操業を停止し、事故原因の解明と再発防止策並びに施設全体の安全に係る総点検を行い、その後の試運転で施設全体の総合的安全性を確認いたしました。

本日、「豊田ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業に係る安全性と環境保全の確保に関する協定書」第14条第4項の規定に基づき、豊田市より運転再開の承認をいただきましたので、下記のとおり運転を再開いたします。

1. 運転再開日

平成18年7月19日よりPCB廃棄物の処理運転を開始します。

事故前に搬入してあるコンデンサ254台から少しずつ安全に処理を開始します。

2. 運転再開の基本方針

安全を最優先に、PCBの処理については、運転再開当初は処理能力の30%程度で始め、安全確実にまいります。

豊田事業所と本社一体の管理体制のもとで、安全に運転します。

処理施設の健全性、運転・操業の確実性の確保と維持向上を図るため、内部技術評価（評価責任者：本社事業部長）を早い時期に実施します。また、以降においても定期的に実施します。

日常のヒューマンエラーを確実に防止するため、豊田事業所と運転会社との連携を密にして教育・訓練を継続して実施します。

今回の事故対策等で抽出された不具合箇所の要因を日常点検、月例点検で生かすトラブルの未然防止に努めるとともに、トラブル発生時には、速やかに適切に対応できる体制を維持向上していきます。

定期点検（8月、12月、5月）を行い、施設の安全性・健全性をさらに向上していきます。

緊急時の適切な連絡はもとより、事業だよりやホームページで情報をわかりやすく積極的に公開し、地元の皆様との信頼関係の回復に努めます。

弊社を監督する環境省の指導監督のもと、常に緊張感を持って安全で確実なPCB廃棄物の処理を行います。

3. 運転再開後の施設公開

豊田PCB廃棄物処理施設では操業開始以来、事故後の操業停止中も見学者を受け入れてきましたが、運転再開後も積極的に受け入れます。

見学者通路を案内し説明しますので、事前予約が必要です。